

せねばならぬ事を力説したところ印度の人々は日の丸が印度に翻る日を待つて居ると答へたが吾が日本はアジア民族解放の重大使命を持つものである。

現下非常時とは何ぞや、滿洲の境界に於て又大平洋に於ける怒濤は今や時の問題である、五ヶ年計劃のロシヤと争ふことは避け難いのが今日の状態である、日本の戦争は有色人種と白色人種との最後の戦であると思へ然るに國內に於て聯盟脱退を期して革命を計劃した共産黨員の檢舉は千數百人である、これを見る時一大非常時を知る事が出来る。

世界大戦に於けるドイツは戦線より一步も退つては居ないが、只國內に起つた社会主義と共産主義とによつて議會は占領され遂に白旗を擧げたのである、吾が熱し易き冷めやすき國民性を見る時ドイツの跡を追ふのではないかを恐れ

る、共産主義の宣傳活動に對する用意があるか、この共産主義思想を日本主義から反駁する社会は人間が造つて居る以上社会制度の悪さを論ずる前に人間の人格を高めなければならぬ事はマルクス主義からも否定出来ない共産主義は人間が神の如き人格をもたない以上實現は不可能だ吾々は社会民主主義政治も排撃する、日本は國家が作り上げた萬世一系の天皇たるを忘れてはならぬ、

吾々は祖國三千年の歴史を省み現在の政治、思想、經濟、外交に於て今や祖國は大平洋の西海岸に没せんとして居る吾々この三千年の歴史を固く守らねばならぬ、而して立派な祖國を子孫に渡そうではないかと云ふのが吾が日本主義運動の使命である。

○演壇から家庭へ

長谷川（陸軍）少將